

ITU-Tに関連したお話

# 思ったより側にある国際標準

Internet Week 2021

NTTテクノクロス

武井 滋紀

# 自己紹介

- 武井 滋紀 です。
  - NTTテクノクロス株式会社
    - セキュアシステム事業部 アソシエイトエバンジェリスト
    - 2016年度までは社名が「NTTソフトウェア株式会社」でした
    - NTTグループ セキュリティプリンシパル
    - ITU-T SG17 WP3 Q3 X.1060 Editor
    - CISSP、情報処理安全確保支援士
- 2
- ISOG-Jでも活動しています。
    - 日本セキュリティオペレーション事業者協議会 WG6リーダー、副代表

# まずはじめに

- 標準化活動の良いテキスト
  - 一般社団法人 情報通信技術委員会(TTC)
    - 標準化教育コンテンツ
    - [https://www.ttc.or.jp/publications/sdt\\_text](https://www.ttc.or.jp/publications/sdt_text)
    - 標準化教育テキスト入門編 第7版(2021/3)
- デジタル標準化機関、フォーラム等の標準化機関、地域・国内標準化機関が網羅され紹介されています。

## 本日のセッションでは

- 国際標準などを決める標準化活動は色々あります。
- それぞれに標準ができるまでのプロセスに違いがあります。
- また、それぞれの組織や団体は連携していることもあります。
- でも、意外と国際標準に関わることができるんです、というセッションです。



# 色々な国際標準の種類

- 標準化教育テキスト入門編 第7版(2021/3), P18, TTC より

## 1-3 標準と標準化機関の分類

### 標準の種類と代表的な標準化機関

◆デジュール標準 (de jure standard) : 公的な位置付けの標準化機関において明確に定められた透明かつ公正な手続きで関係者が合意の上、制定される標準

例

- ITU (国際電気通信連合) : 情報通信標準
- ISO (国際標準化機構) : 情報処理・工業標準
- IEC (国際電気標準化会議) : 電気機器標準
- ISO/IEC JTC1 (ISO/IEC第一合同技術委員会) : 情報技術標準

◆フォーラム標準(forum standard) : 複数の企業等により結成されるフォーラムと呼ばれる組織が、公的ではないが開かれた標準化手続きにより策定する標準

例

- IETF (Internet Engineering Task Force) : インターネット技術の標準
- IEEE (Institute of Electrical and Electronics Engineers) : 米国電気電子技術者学会の標準
- W3C (World Wide Web Consortium) : ウェブ技術の標準

◆デファクト標準 (de facto standard) : デジュール標準のような標準化のプロセスを経ず、市場で多くの人に受け入れられることで事実上の標準となったもの

例

- マイクロソフト社のOS (MS-Windows)
- アップル社のOS (iOS)
- グーグル社のOS (Android)

本日はこの辺りに  
関連した方から  
どんな感じかを  
発表します

# ITU-Tの場合



# ITU-T ??

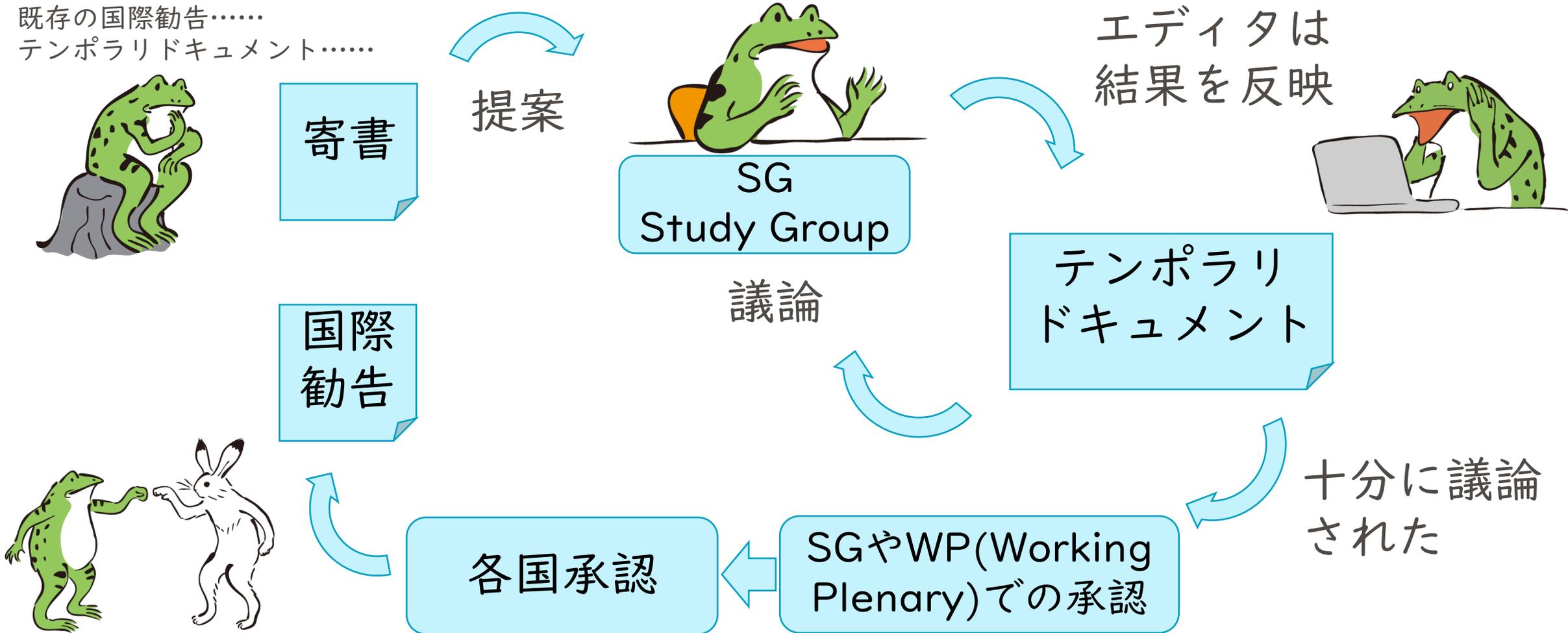
- 「デジュール標準(de jure standard)：公的な位置付けの標準化機関において明確に定められた透明かつ公正な手続きで関係者が合意の上、制定される標準」
  - 標準化教育テキスト入門編 第7版(2021/3), P18, TTC より
- ITU(International Telecommunication Union)：国際電気通信連合
  - ITU-T：電気通信の標準化部門
  - 国際連合の専門機関の一つ。基本的に国単位での参加。
- ITUの標準化事例
  - 国際電話番号 (E.164)、携帯電話の無線インタフェース(M.1457)、電話回線を用いたデータ通信方式(G.992/G993)



# 厳密な手続きと文書の文化

- ルールに従って文書を作成し、議論をし、全員の合意が必要。

議論対象の課題……  
既存の国際勧告……  
テンポラリドキュメント……



## 寄書を出すためには

- まずは、ITU-Tのメンバーであることが必要
  - 企業はセクターメンバーと呼ばれ、登録や年間費用が必要
- 所轄官庁は総務省
- セクターメンバーからの寄書は、一般社団法人情報通信技術委員会（TTC）の専門委員会にて事前に確認されている。

# 他組織や団体との連携

- 「リエゾン文書」と呼ばれるお手紙で文通します。

これ……

あれと同じにしておきたいなあ……



実際、行ってみたら……

---

色々思うところがありました

